

経営比較分析表（令和元年度決算）

北海道標茶町 町立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
7,509	5,985	第1種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

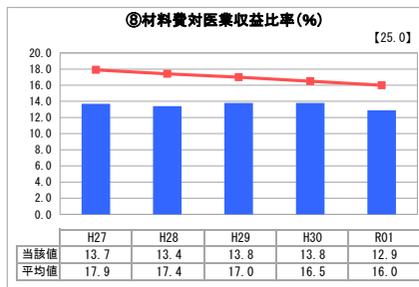
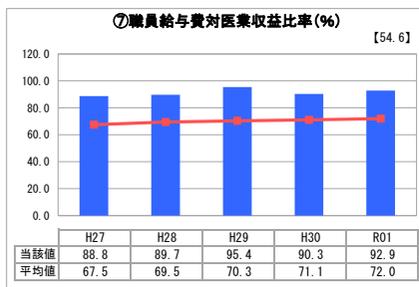
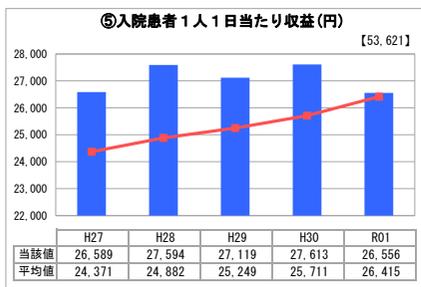
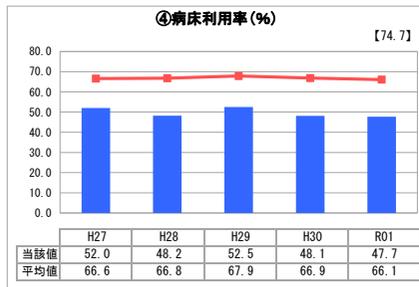
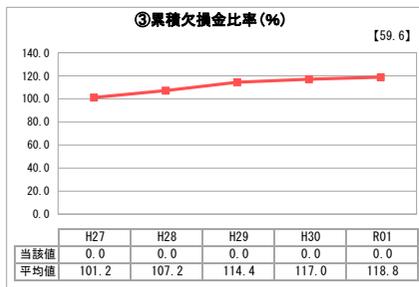
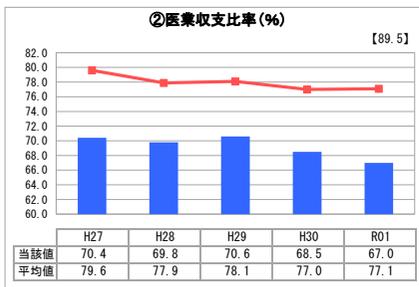
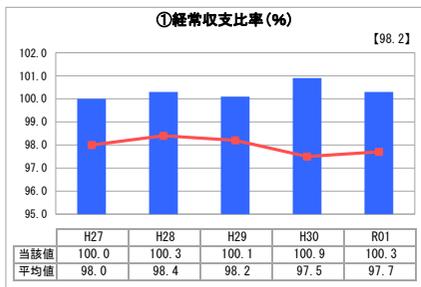
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
60	-	60

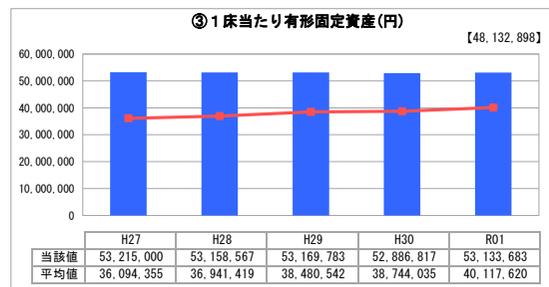
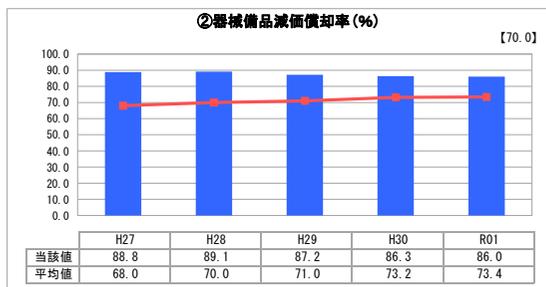
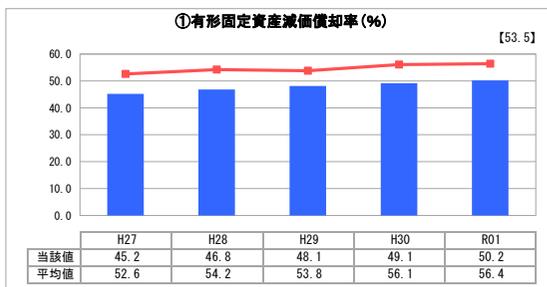
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

- ①町内唯一の病院として
- ②へき地、過疎地における一般診療の提供
- ③救急・小児・産婦人科等の不採算医療の提供
- ④町内職場の産業医
- ⑤介護保険主治意見書及び認定審査会への委員派遣
- ⑥リハビリ事業等の役割を果たしている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

へき地医療を担う不採算病院であることから類似病院平均値と比較し医業収支比率は低く、職員給与対医業収益比率は高くなっている。当院利用者は高齢者が多く、慢性的な疾患が多いことから外来患者1人1日当たり収益が類似病院平均値と比較し低い。また、院外処方のため材料費対医業収益比率が低い。へき地医療や不採算医療の提供という役割を担っている上、診療圏人口の減少により経営は一層厳しくなることが予想されるが、地域医療構想及び地域住民のニーズを踏まえながら病床数の見直しなど経営の効率化を引き続き図っていく。

2. 老朽化の状況について

当院の建物は平成8年築のため、有形固定資産減価償却率が類似病院平均値と比較し低い。しかし建築時に導入した器械備品が多く、それらの減価償却累計額は高くなっており、更に建築当時より病床数が減少していることから、1床当たり有形固定資産は類似病院平均値と比較し高くなっている。引き続き経営面等を考慮しながら、計画的に有形固定資産の更新をしていく必要がある。

全体総括

へき地医療を担う不採算地区病院のため収益の確保が難しい上に、公的医療機関として地域医療の確保のための重要な役割を担っていることから救急医療等の不採算部門についても業務を行っているため、一般会計からの繰り入れが不可欠となっている。業務の効率化、人員の適正配置、固定資産の計画的な更新などを進め、新改革プランに基づき経営の効率化を図っていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。